

# 市民ネットワーク

# まちづくり通信

NO. 64

## INDEX

- ・議会報告—未来への視点は
- ・子ども未来局
- ・若葉区トピックス
- ・街づくり連続講座
- ・未来に残そう坂月川
- ・議会傍聴記
- ・市営霊園を考える
- ・バスツアー



**山田京子**  
の  
**議会報告**

千葉市議会 第1回定例会報告

平成22年2月22日  
～3月19日

発行：市民ネットワーク  
編集：市民ネットワークわかば

## 財政危機脱出のための予算原案に市民ネットは賛成!

千葉市の平成22年度予算編成は、一刻も早く財政危機を脱出するための厳しい予算編成でした。市民ネットワーク、民主無所属（鈴木議員）は市長原案に賛成しましたが、反対多数で否決されました。そして、自民、公明、新政ちばから一部事業修正動議が提出され、可決されました。公開の場で議員同士の議論が活発に行われたことは評価できますが、この修正動議は、「予備費※」3億円から6千万円を使うというものです。そこまでに予算復活の必要があったのでしょうか。

修正部分以外の予算原案は共産党を除くすべての会派の賛成で可決しましたが、波乱に富んだ今議会でした。

### 修正動議

- ◆自治会への行政事務委託費1世帯当たり400円を300円に減らす予算案を400円に戻し3千万円復活。
- ◆敬老会への委託費一人当たり830円から500円に減額する案を650円にし1千万円復活。
- ◆はりきゅうマッサージの施術料補助年間24枚から6枚に減らしたものを10枚へ引き戻し2千万円復活
- ◆科学の都に関する事業費 有識者会議開催のための80万円を総務費から商工費へ

### ◎未来への視点はあったか

今回の予算編成は、324億円もの収支不足に対応するため、無駄を省き、少しずつ痛みを分かち合い、子どもたちにツケをのこさないためのものでした。確かに市民への影響は大きいですが、市長も「お詫びをする」と発言していましたが、どこに重点を置くべきか、未来に向けての視点が重要です。

市長原案に反対した会派はどんな視点を持っていたのでしょうか。

事業仕分けの結果を受けて、厳しく削った予算もありましたが、子ども入院医療費の無料化が一気に中学終了まで引き上げられたり、地域周産期母子医療センターが海浜病院に設置されるなど、安心して出産、子育てできるための予算も確保されました。また、成年後見支援センターの設置も、高齢社会に向けて急がれる事業だっただけに評価できる予算です。

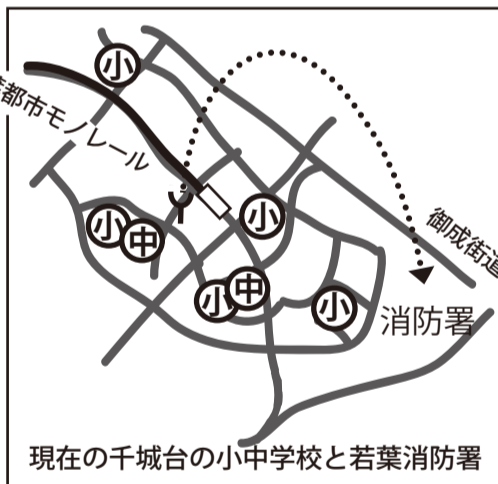
### ◎財政危機を招いた責任はだれに?

私は最終日に討論（注）を行いました。政令市移行後の過大な投資を見直しもせず、借金を増やし続けた前市長の失策とそれを

## Wakabaku トピックス

### ○千城台地区の学校統廃合

千葉市学校適正配置実施方針に基づき、子どもが減った千城台地区でも将来、小学校5→2、中学校2→1へ統廃合するという方向性が示され、合意形成のため、昨年12月から地元説明会が、この2月には第1回千城台地区学校適正配置地元代表協議会が始まりました。



平成26年度の推計では小学生数が地区合計で985人。中学生数は568人に減少すると見込まれています。

「統廃合の結論ありきではない」と教育委員会はしていますが、統廃合に向かっているのは確かです。地元協議会だけで十分な議論が尽くせるでしょうか。子どもがいるいないにかかわらず、すべての地元住民が、この問題について時間をかけてじっくり話しあうべきです。子どもの立場にたった学校の在り方と高齢社会にむけて地域の核としての学校の活用を一緒に考えていきましょう。

次回の協議会は5月14日（金）18時半～千城台公民館です。傍聴に行ってみませんか。

### ○若葉消防署新設移転→跡地はどうなる?

千城台駅そばの現消防署は、狭小、老朽化のため建て替えられますが、23年春から金親町に移転予定です。住民が知らないうちに移転がきまり、住宅密集地から離れてしまうことへの懸念は、08年6月の一般質問で指摘したところでした。

その後も跡地の利用はまだ何も決まっておらず、今こそ市民を交えた検討の場を開く必要があります。

### ※予備費とは?

予備費は「予定外の支出、または予算超過の支出に充てるため、歳入歳出予算に計上しなければならない」と、地方自治法で規定されています。過去には市税還付金、アスベスト撤去工事、新型インフルエンザ対策などに使われています。予備費の支出はここ5年間は平均2億円ほどです。災害にも使われることが想定されますから、予備費を使うのは本当に困った時だけです。



支持した会派の責任の重さを指摘しました。財政健全化に向けては市民の理解と協力が不可欠なことから、今後も市民への丁寧な説明が必要だと発言しました。

（注）討論：採決の前に、議案や請願についての賛成や反対の意見、およびその理由を述べるものです。意見のやりとりはなく、会派ごとに1名が代表して30分～50分ほど発言します。その際、賛成する場合でも、あえて指摘しておきたい事項や要望を盛り込むことがあります。

### ◎市役所の組織改正 「子ども未来局」

これまで、保健福祉局の中にあった「子ども家庭部」と、教育委員会にあった「青少年課」が一緒になり「子ども未来局」が新設されました。

それにより、児童虐待の問題や、学校に通っていない思春期の子どもへの対応がより一層進むはずですが、また、これまで、「子育て支援」という切り口で親への支援が中心でしたが、子ども自身が育つことや社会への子どもの直接の参画が子ども未来局の事業に盛り込まれることが重要で、千葉市の将来にとって大切な組織改正となると考えます。

